

What's a

日本版ミーティングセンター

# 一体的支援プログラム

一体的支援プログラムは「**出会い(Meeting)**」と「**話し合い(Meeting)**」を大切にしています。新たな人たちそして、別の家族や社会資源との出会い直し、役割との出会い様々な出会いがあります。それによって家族関係に気づき調整をはかるプログラムです。



## 一体的支援プログラムの流れ (時間は地域の実情に応じて計画)

月一回程度、認知症のご本人とご家族を一つの単位として展開します。プログラムは話し合いで決まり予定調和ではありません。基本プログラム加え適宜、本人や家族への個別相談や情報提供が行われます。



- 自信が生まれる
- 主体的な行動
- 新たな役割創出

- 家族関係の気づき
- 新たな出会い
- お互いの学びへ

- 介護負担感軽減
- 介護を肯定的に評価する機会に

このプログラムは  
**3つの柱と3つの哲学**  
を大切にします。

かわり方の  
**3つの哲学**

教育するのではなく、気づきと言葉を待つことを大切にします。

- ① うまくいっていることは直さない
- ② うまくいったことは繰り返す
- ③ うまくいかない場合は違うことを

詳しくは  
[こちら](#)

この活動は、地域支援事業交付金(認知症総合支援事業)により認知症地域支援推進員が企画・調整を行い活動を支援します。

**小さくはじめて、少しずつ浸み込むように広がる活動を**

場所	工夫
認知症カフェのメンバーが中心に運営	行政や認知症地域支援推進員と協力しカフェ参加者から始める。
地域の専門職等が連携して運営	地域密着型サービスなどを会場にサービス利用者から始める。
家族の会等の活動を発展的に運営	家族会に集うメンバーから始める。

